

サポートチームだより

子どもたちにとって最善の取組を ～大樹町「部活動等地域連携推進協議会」開催～

大樹町教育委員会は、令和7年7月24日（木）大樹町生涯学習センターにおいて「第1回部活動等地域連携推進協議会」を開催し、協議会委員や教育委員会職員の方などが出席して行われました。冒頭で地域連携推進協議会委員長 齊藤 徹 さん 及び 沼田 拓己教育長 よりあいさつがあり、沼田教育長は「子どもたちにとって最善の取組を」と述べ、今後の取組に係る方向性を示しました。会議では 井上 博樹社会教育課長 より、地域移行の「モデル事業」として、陸上競技と茶道について取組を開始し、地域住民や役場職員等が関わり、地域クラブとしての活動を始めたことの報告が行われました。協議会では情報提供として十勝教育局教育支援課主査（地学協働）の 有働 雅哉 が「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議『最終とりまとめ』」等についての情報提供と部活動地域移行（展開）に係る取組イメージを説明しました。説明後には複数の質問が出るなど、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



協議会の様子
(写真は主催者提供)

行政がリーダーシップを取って

～【更別村学校経営サークル研修会】東川町地域スポーツデザイナー谷島さん 講演～

更別村校長会及び教頭会は、令和7年8月6日（水）更別村農村環境改善センターにおいて「令和7年度更別村学校経営サークル研修会」を開催し、更別村内の小・中学校長や教頭などが出席し、行われました。この研修会は、更別村内小・中学校の管理職が一堂に会し、資質能力の向上を高めることを目的として例年実施されており、今年度は、東川町教育委員会 地域スポーツデザイナー 谷島 大知 さん（=右写真）を招き、部活動地域移行（展開）に係る講演が行われ、十勝教育局からは有働主査が主催者のご配慮により特別に出席させていただきました。講演では、自身がこの取組を行うこととなった経緯や東川町での取組について、学術的な資料を用いるなどし、様々な観点から説明がされました。講演で谷島さんは、部活動地域移行（展開）の取組について「大人が環境を整備することが大事」とし、「行政がリーダーシップをとるべき」取組であると述べていました。出席した有働主査は「他の管内で積極的に取組を行っている自治体の話が聞けたことは大変有益だった。今後も谷島さんと連携させていただき、いろいろ学んでいきたい。」と意欲を高めていました。



講演する谷島さん

【発行・お問い合わせ先】
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：0155-26-9243 E-mail: tokakyo.kyouiku@pref.hokkaido.lg.jp